

【再評価】

番号	事業 区分	事 業 名	事業概要	事業採択 年度	事業費 〔億円〕 上:全 体 下:H30末まで （進捗率）	前回評価 年度	再評価 該当要件	事業進 捗等の 大きな 変更の 有無	※1 前回 B/C 分析 を省 略	(※2)前回評価時からの 費用対効果分析の要因の変化						対応 方針 (原案)	備 考
										A	B	C					
												1	2	3	4		
1	港湾	境港ふ頭再編改良事業	境港において、背後に立地する企業の物流効率化を図るとともに、施設の老朽化への対応や船舶航行安全を確保するため、港全体の機能を再編し、外港竹内南地区において、内貿RORO船、国際フェリー等の機能集約化した複合一貫輸送ターミナル整備を行う。	H27	112 (65%)	H26新	再評価を 実施する必 要が生じた 事業	有				■		■	■	継続	

【事業進捗等に大きな変更がある事業】となる選定要因(判定フローに該当のチェック)
判定フローで、「NO」と判定された項目がある場合に「事業進捗等」に大きな変更がある事業」となる。(※「NO」と判定された項目に「■」を記載)

- ※1:前回費用対効果分析を実施している。
※2:「前回評価時からの費用対効果分析の要因の変化 等」判定基準
- A. 事業目的に変更がない。
 - B. 社会経済情勢の変化がない。(例:地元情勢等の変化がない。)
 - C. 前回評価時において実施した費用便益分析に関する要因に変化がない。
 - 1. 費用便益分析マニュアルの変更がない。[例:B/C算定方法に変更がない。]
 - 2. 需要量等の変化がない。[需要量等の減少が10%以下]
 - 3. 事業費の変化[事業費の増加が10%以下]
 - 4. 事業展開の変化[事業期間の延長が10%以下]

【事後評価】

番号	事業 区分	事業名	事業概要	事業採択 年度	事業完了 年度	事業費 〔億円〕	備 考
1	港湾	三田尻中関港三田尻地区防波堤整備事業	三田尻中関港において、三田尻地区背後には、化学工業や自動車関連工業等の企業が立地しており、高波浪による荷役効率の悪化や台風による背後施設の被災発生により、港湾機能が十分に発揮されていない状況であるため、その対策が急務となっている。 本プロジェクトにおいては、港湾施設の適正な機能発揮及び船舶の安全性・信頼性の向上に寄与するため、防波堤整備を行うものである。	H3	H25	56	
2	河川	旭川総合内水緊急対策事業（平井・中川町地区）	倉安川の河川改修と合わせ、計画規模(1/30)での内水湛水域における内水被害の軽減(床上浸水の解消)を図るものである。	H21	H25	11	
3	道路	一般国道9号 駒馳山バイパス	一般国道9号は、京都市を起点とし下関市に至る延長約740kmの主要な幹線道路である。 一般国道9号駒馳山バイパスは鳥取県の東部に位置し、地域高規格道路「鳥取豊岡宮津自動車道」の一部を構成し周辺地域・施設との連携強化を図るとともに、旧道部(旧国道9号)の交通混雑の緩和、安全・安心の確保、冬季の交通機能の確保等を目的とした延長7.7kmのバイパスである。	H7	H25	351	
4	道路	一般国道9号 名和・淀江道路	一般国道9号は、京都市から下関市に至る延長約740kmの主要幹線道路である。 名和・淀江道路は鳥取県西伯郡大山町に位置し、山陰道の一部を構成し山陰の地方都市間の連携強化を図るとともに、国道9号の交通混雑の緩和、安心・安全の確保、災害時における緊急輸送道路の確保等を目的とした延長12.1kmの道路である。	H8	H25	394	
5	道路	一般国道9号 中山・名和道路	一般国道9号は、京都市から下関市に至る延長約740kmの主要幹線道路である。 中山・名和道路は鳥取県西伯郡大山町に位置し、山陰道の一部を構成し山陰の地方都市間の連携強化を図るとともに、国道9号の交通混雑の緩和、安心・安全の確保、災害時における緊急輸送道路の確保等を目的とした延長4.3kmの道路である。	H19	H25	98	
6	道路	一般国道30号 児島・玉野拡幅	一般国道30号は、岡山県岡山市から香川県高松市に至る延長約26.4km(陸上部)の主要幹線道路である。 児島・玉野拡幅は、岡山県岡山市及び岡山県玉野市に位置し、交通混雑の緩和、安全・安心の確保、玉野市及び港湾拠点と岡山市圏との連携強化、アクセス向上等を目的とした、延長15.0km区間における現道2車線から4車線への道路拡幅事業である。	S45	H25	357	
7	道路	一般国道2号 戸田拡幅	一般国道2号は、大阪府大阪市から福岡県北九州市に至る延長約670kmの主要幹線道路である。 戸田拡幅は、周南市戸田地内の交通混雑の緩和、安全・安心の確保、交通基盤の確保等を目的とした、延長2.4km区間における現道2車線から4車線への道路拡幅事業である。	H15	H25	81	

資料-4

